

令和５年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市地場産業振興センター		
所在地	塩尻市大字木曽平沢２２７番地７		
指定管理者名	一般財団法人 塩尻・木曽地域地場産業振興センター		
指定期間	平成３１年４月１日 ～ 令和６年３月３１日 （５年間のうち５年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	商工観光部 商工課

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実 績
【地場産業の振興に関する事業】 １ 地場産品の振興に関する事業 ・ パフォーマンス展示販売契約者数 30件 ２ 地場産品の普及および販路・需要の開拓 ・ 体験学習受入件数 90件 ・ 利用者数（レジ通過客数） 44,000人	【地場産業の振興に関する事業】 １ 地場産品の振興に関する事業 ・ 販売ブースを各店舗ごとにレイアウトを変更し、当センターでの販売及び産地への誘導を図った。 ２ 地場産品の普及および販路・需要の開拓 ・ 体験学習受入件数 61件 ・ 利用者数（レジ通過客数） 50,905人
【施設維持管理】 １ 建物保守管理業務 ・ 構築物各部位の点検・保守 （屋根・外壁・建具、天井、内壁、床、階段等） ２ 建物設備保守管理業務 ・ 設備運転及び監視 ・ 法定点検 年 1 回 ・ 消防設備点検 年 2 回 ・ 電気設備点検 年 6 回 ・ 地下タンク設備点検 年 1 回 （機械設備、空調設備等は必要に応じて実施） ３ 備品等保守管理業務 ・ 備品台帳の確認・整備 ４ 清掃業務 ・ 年間清掃日数 348日 ・ 外構整備（草刈り等） ５ 修繕業務 ・ 修繕個所の確認及び修繕実施	【施設維持管理】 １ 建物保守管理業務 ・ 構築物各部位の点検・保守 随時実施 ２ 建物設備保守管理業務 ・ 設備運転及び監視 設備運転ごと実施 ・ 法定点検 年 1 回 ・ 消防設備点検 年 2 回 ・ 電気設備点検 年 6 回 ・ 地下タンク設備点検 年 1 回 （機械設備、空調設備等は必要に応じて実施した） ３ 備品等保守管理業務 ・ 備品台帳の確認・整備 随時実施 ４ 清掃業務 ・ 年間清掃日数 323日 ・ 外構整備（草刈り等） 適時実施 ５ 修繕業務 ・ 消防設備、ボイラー、トイレ等修繕 6件 ・ 修繕個所の確認及び修繕実施 随時実施

6 警備業務 ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 7 駐車場管理業務 ・駐車場の安全確保・維持管理 8 除雪業務 ・敷地内除雪業務	6 警備業務 ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 7 駐車場管理業務 ・駐車場の安全確保・維持管理 随時実施 ・お盆期間中等民間警備委託 9日 8 除雪業務 ・敷地内除雪業務 積雪時実施
---	--

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	342日	318日	343日	92.7%
施設利用者数（木曾くらしの工芸館）	44,000人	50,905人	51,929人	98.0%
体験者数	2,000人	1,151人	1,282人	89.8%
オンラインショッピング売上	1,000,000円	173,428円	490,723円	35.3%
貸館利用日数	40日	4日	15日	26.7%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析（指定管理者、施設担当課）

指定管理者の 評価・分析	・経営改善で得たノウハウを活かし、利用者の増加及び収益の改善に努めた。 ・MD計画に基づく季節ものの販売促進や、作り手が見えるレイアウトによる売上の増加及び産地への誘客に努めた。 ・HP、SNS等による情報発信を都度行い、来観客数の増加に努めた。
施設担当課の 評価・分析	・販売スペースのレイアウト変更や、HP・SNS等による情報発信により、利用者数目標を達成した。 ・ECサイトについては、コロナ禍の緩和によりオンラインでの購買が減少したためか、前年比を下回る結果となった。売上増加に向けた取り組みが必要である。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

(税抜き表示)

	項 目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	(%) (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	12,728,000	12,727,274	13,636,365	93.3%
	・ 事業継続支援金	0	0	0	0.0%
	・ 使用料 (or 利用料)	58,000	6,263	24,718	25.3%
	・ 事業収入	124,292,000	132,498,976	137,290,617	96.5%
	・ 自主事業収入	34,450,000	9,685,132	65,045,249	14.9%
	・ 自主事業補助金収入	5,000,000	5,000,000	5,000,000	100.0%
	収入計 (A)	176,528,000	159,917,645	220,996,949	72.4%
支 出	・ 仕入原価	88,162,000	90,726,996	98,027,596	92.6%
	・ 外注費	10,000,000	1,747,600	24,326,187	7.2%
	・ 原材料費	1,500,000	3,000	665,740	0.5%
	・ 給料手当	37,031,000	26,756,980	30,367,801	88.1%
	・ 臨時雇用賃金	2,236,000	3,070,880	3,229,061	95.1%
	・ 退職給付	720,000	488,000	2,161,638	22.6%
	・ 福利厚生費	5,712,000	4,578,326	5,317,518	86.1%
	・ 会議費	61,000	5,553	47,423	11.7%
	・ 旅費交通費	2,420,000	352,132	421,427	83.6%
	・ 通信運搬費	1,743,000	1,785,654	1,751,397	102.0%
	・ 消耗什器備品費	0	0	1,440,000	0.0%
	・ 消耗品費	1,677,000	1,776,964	2,265,647	78.4%
	・ 修繕費	1,819,000	1,298,636	891,100	145.7%
	・ 印刷製本費	780,000	230,400	506,991	45.4%
	・ 燃料費	2,719,000	1,881,395	2,481,671	75.8%
	・ 光熱水費	5,581,000	4,545,969	5,471,225	83.1%
	・ 賃借料	3,906,000	3,636,357	3,857,563	94.3%
	・ 保険料	1,082,000	1,236,185	808,835	152.8%
	・ 租税公課	779,000	1,259,098	8,183,550	15.4%
	・ 振興費	180,000	56,662	341,247	16.6%
	・ 負担金支出	1,522,000	1,454,433	1,482,115	98.1%
	・ 諸謝金	273,000	101,079	104,590	96.6%
	・ 委託費	4,038,000	9,973,471	9,749,692	102.3%
	・ 支払手数料	1,202,000	1,625,105	1,393,501	116.6%
	・ 支払利息	96,000	44,013	0	0.0%
	・ 広報費	793,000	398,909	1,309,097	30.5%
	・ 雑費	96,000	29,944	27,054	110.7%
	支出計 (B)	176,128,000	159,063,741	206,629,666	77.0%
	収支 (A) - (B)	400,000	853,904	14,367,283	

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	68.7%	60.4%
負債比率（（流動負債＋固定負債）/資本×100）	45.6%	65.7%
固定比率（固定資産/資本×100）	55.8%	54.7%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	197.0%	168.5%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	-154.1%	11.2%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長2名（副店長1名、総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名	事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長1名（総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
【補助金等事業】 ・大規模展示会に産地が主体となり出展することから、木曽漆器をPRするために、事務作業等の人的協力を行う。 ・木曽漆器工業協同組合の計画した「伝統的工芸品産業支援補助事業」の振興計画について、実施協力をする。 ・木曽漆器工業協同組合と共同で提案した「長野県県民参加型予算」が採択されたことを受け、事業実施方法などを協議し、事業化を目指す。	【補助金等事業】 ・首都圏で実施された大規模展示会出展を支援し、木曽漆器の販路拡大及びPRのために、産地と連携協力を実施した。 ・木曽漆器工業協同組合の計画した「伝統的工芸品産業支援補助事業」の振興計画に基づき、漆器振興に向けた取り組みに協力した。 ・木曽漆器工業協同組合と共同で提案した「長野県県民参加型予算」の令和6年度での実施に向け、内容及び予算積算を長野県と協議し、準備を進めた。 ・観光コンテンツ造成事業については、観光庁の助成事業を活用し、インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けて漆工体験の充実を図るため、産地内の調査やモニターツアー、動画の制作等を実施した。また、民間企業が取り組む事業については、事業者の紹介など協力した。
【PR・イベント事業】 ・SNS等の情報発信を行う。 ・イベント等は有効性等を見極めた上で参加する。 ・施設の広告宣伝や、地域内への誘客を図るように努める。	【PR・イベント事業】 ・SNSを活用し情報発信を行った。また、より良い情報発信をするべく、ホームページのリニューアルに取り掛かった。 ・外部イベントは有効性等を見極めた上で参加し、催事には3回出展した。 ・施設の広告宣伝や地域内への誘客のためメディアを活用するとともに、近隣の観光情報についてもパンフレットコーナーを設置してPRを実施した。
【文化財修復等事業】 ・木曽漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を受注する。新日本様式100選に選定された「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」は、木曽漆器における後継者育成、技術伝承、需要拡大を図る。 ・設計、施工業者などの人脈を主に情報交換を積極的に行い、受注確保へつなげる。	【文化財修復等事業】 ・木曽漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を受注する。新日本様式100選に選定された「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」は、木曽漆器における後継者育成、技術伝承、需要拡大につながった。 ・年度当初は案件がなかったが、業界大手からの施行協力を受け、年末より1件受注し、そのほかにも2件相談を受けている。

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

（1）実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	①	－	3	－	－	①	－	3	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
（1）評価点合計（16項目）			44					44				

（2）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	②	3	－	－	1	②	3	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	②	3	－	－	1	②	3	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（2）評価点合計（8項目）			22					22				

（3）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	①	2	3	－	－	①	2	3	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
（3）評価点合計（16項目）			49					46				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計 （満点164点）	指定管理者	115点	70.1%	施設担当課	112点	68.3%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	1 3	協定書及び仕様書に基づき、施設利用の利便性の向上及び利用者の安全確保に努めた。	3	体験者数や貸館利用者日数について向上されるような施策に期待したい。
	2	施設の目的を果たすため、木曽漆器等品物と作り手、産地を結ぶ役割を担えるような店舗づくりを進めてきた。	5	BCPの策定は実施されたが、定期的な訓練は実施されていないため、不測の事態に対応するためにも実施してほしい。
	9	（一社）長野県観光機構より学んだ店舗運営を活かし、季節商品の配置など店舗スタッフと共に行いスキルを教えながら、集客や売上の増加を図った。	14 15 16	近年、サイバー攻撃による個人情報流出が問題となっているため、セキュリティ対策は確実に実施すること。
(2) 収支等の評価	18	指定管理料は、協定書等に基づき適正に利用しているが、固定費の引き落とし等があることから、専用口座にできない。	18	毎年度報告しているとおり、固定費等の管理の都合上、通帳は分けられないことは承知している。
	21	R5年度当初は文化財の案件がなかったが、今後3年間で3件の下請け案件を受けるように打合せを進めつつ、工芸館単体でも黒字化できるように進めた。	21	今回獲得した案件は、同業者等の人脈による情報交換からの結果とのもので、文化財修復事業は大きな収入源であるため、今後も関係各所との情報交換を大切に、案件を進めてほしい。
	23 24	大規模改修の際に省エネ化を図り、かつ必要な修繕も行ったことで、固定費使用料の効率化を図った。	23 24	電灯やボイラー改修により固定費の削減が確認されているため、引き続き経費削減に取り組んでほしい。
(3) サービス等の内容や水準	32 35 36	事業計画に基づき、施設運営などの指定管理事業を適切に行っている。	27	利用者アンケートが未実施であるため、実施することにより利用者のニーズを確認してほしい。
	37	修繕は大規模改修も併せて関係各所と協議することで、予算執行を抑えつつ、必要なものについては市と協議の上行った。	30	ブログやお知らせはSNSと連動して定期的に更新されている。現地への誘導以外にもオンラインショップでの売り上げ増加のため、積極的なPRをお願いしたい。
	30	ホームページや各種SNSを活用し、工芸館の情報だけではなく、取引先を中心とした地域の情報発信にも努めた。	34	季節や月ごとのイベントに応じて特設コーナーを設置し、売り上げ増加を図っていた。今後も店舗売上増加に繋がる仕掛けの展開に期待したい。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価
	・（一社）長野県観光機構との経営改善で得たノウハウを活かし、利用者の増加及び収益の改善に努めた。また、有効活用が課題となっているアートギャラリーについても、長野県県民参加型予算を活用し、木曽漆器工業協同組合と連携し、長野県の伝統工芸品が一堂に会する場所として、有効活用できるように事業を進めていく。 ・文化財修復等事業では、年度当初は案件がなかったが、業界大手からの施行協力を受け、年末より1件を受注し、そのほかにも2件相談を受けている。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）
	・観光機構の指導をもとに、さらなる利用者の増加及び収益の改善に努めていく。 ・文化財修復等事業では、継続的に施行できるように調整を進めていく。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）
	・センターの意義等を再構築し、木曽漆器工業協同組合など関係団体との協調を図る。また、長野県の県民参加型予算による施設の活性化による拠点整備として、県内伝統的工芸品の常設展示場設置を進める。また、この施設から産地の各店舗へ誘導できる導線になるような、拠点整備も併せて行っていく。
施設担当課	・令和5年度は新規職員の採用のない中でマンパワー不足が懸念されたが、経営改善のノウハウ等も活かしながら、利用者増加と事業収入については、目標値及び当初計画を達成できた。しかし、昨年度実績を下回っていたため、改善できるような取り組みに期待したい。 ・避難訓練やアンケート調査の未実施、一部規程の未整備については、昨年の指摘事項でもあるため、改善を強く求めたい。